# 川越

月2回 10日 25日 1部2円 (昭和32年6月10日 第三種郵便物認可) №222

9月10日 昭和43年 (1968)

発行所 埼玉県川越市役所
川越市元町1丁目2番地
電話川越(0492)㉓1450(代)

印刷所 小沢写真印刷工芸社


**納税メモ**

今月納期の税金はありません。いままでに納めてない税がありましたら，整理しておきましょう。

外出前に
ねる前に 火の元
戸締り確かめよう

# のびゆく水道

## ＝第二次拡張工事の完成も間近＝

### 伊佐沼浄水場完成

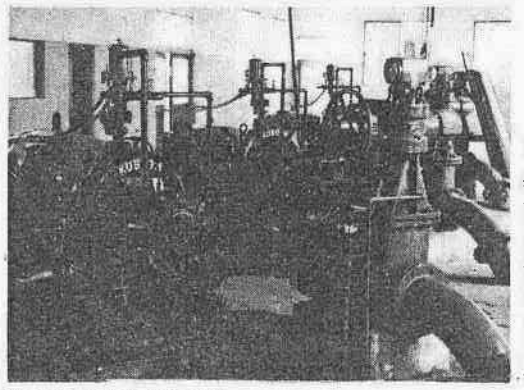
昭和四十二年十一月、着工し た伊佐沼浄水場が完成し、去る七月十五日から給水が開始されています。

この浄水場は、川越市上水道の第二次拡張工事の一環で、昭和三十九年度より五カ年計画ではじめられたもので、この工事も、今福・霞ケ関両浄水場につづき、伊佐沼浄水場の完成で、おもな工事が、ほぼ終了しました。

六億三千万円の予算を持って、昭和三十九年度から着工された第二次拡張計画も、伊佐沼浄水場の完成で、おもな工事が終り現在、給水区域も市の面積の二分の一以上となり、給水人口は十二万人に近ずいています。しかし、市の人口は年々急速な伸びを示し、それにともなって水の需要も急上昇しています。市では、さらに第三次拡張を行ない、市内全域に給水できるよう、その計画を立案中です。

**伊佐沼浄水場工事概要**

| | |
|---|---|
| 所在地 | 大字伊佐沼字沼田町700 |
| 敷地 | 約11,000平方メートル |
| 総工費 | 2億1千万円 |
| 設備内容 | |
| 配水ポンプ室 | 鉄筋コンクリート造 333平方メートル |
| 着水井 | 鉄筋コンクリート造 132平方メートル |
| 配水池 | 2池（長さ23×巾15×深さ4メートル）2,700トン |
| 配水ポンプ | 75K.V.A3基 |
| 自家発電装置 | ディーゼル 450馬力 |
| 水源 | 深さ 180～200メートル 4井（第4号井は工事中） |
| 取水能力 | 取水量最大能力1日1基当り 2,400トン |
| 配水本管 | 延 3,800メートル |
| 排水路 | 124メートル |



写真上は完成した伊佐沼浄水場，写真左は同浄水場の配水ポンプ室

### 第二次拡張工事の概要

第二次拡張工事の計画は、昭和三十七年頃から急速な人口増と、全市内地域の地下水位の降下による、自家用浅井戸から上水道への移行、下水道の普及、環境衛生の向上等、市の発展にともなう人口の社会増などから、ひとりあたりの使用水量の増加と工場誘致、さらには川越・狭山工業団地の建設など需要水量は、自然、社会両面でいちじるしく急増してきたため、昭和三十九年から昭和四十三年までの五カ年計画で施行したものです。

その規模は、浄水場三カ所取水井戸十一井（内三井は未完成）、給水人口三万一千人、配水管延長九万一千五百二㍍、給水区域は三十二・九一平方キロ㍍で市街地の一部と、簡易水道の設置された古谷地区を除き、各出張所地区の管内の全部、また一部にまたがる広大なものです。総工費は、六億三千万円となっています。

### 市水道事業の沿革

#### 目標は百％の給水

川越市の上水道は、市街地の道路整備、下水道施設など公共施設にくらべ、比較的に遅れていました。これは市内が地下水に恵まれていたためで、この地下水は秩父嶺から東に広がる武蔵野の森林を滋養源とした、非常に豊富で良質な水であったことなどが、上水道設置の遅れた原因ともなっていました。

そのため本市上水道の歴史は比較的浅く、上水道創設工事の着工は昭和二十七年度で、当初計画は給水人口三万二千人、給水区域はおおむね市街地一円とし、総工事費一億六千万円で開始しましたが、昭和二十九年五月、家庭給水開始当時は「塩素の臭いがする」「お茶がまずい」など上水道に対する理解が浅く水道の申し込みが少なくて、上水道事業の運営にもいちまつの不安があったほどでした。

#### 三十五年に 第一次拡張

その後年をおって、水道に対する理解も深まったこと、人口増加による市街地周辺の住宅化などで、地下水の汚染、干ばつで市内浅井戸の渇水などから、給水を希望するかたが急速に増加して、昭和三十五年には遂に計画目標年次を待たず、第一次拡張工事に着手することに至りました。

この第一次拡張工事は、首都圏衛星都市として逐年増加の一途をたどる本市の給水人口に対処するとともに、団地等新市街地の水需要に応じたものですが、その後も上水道利用者の増加は著しく、その止まることを知らず、拡張の必要に迫られる状況となったため、昭和三十九年度から、さらに第二次拡張工事を開始しています。

この第二次拡張は、浄水場三ヵ所、取水用井戸十一井、給水区域三十二・九一平方キロ㍍、給水人口三万一千人、配水管延長九万一千五百二㍍、総工事費六億三千万円と大規模なものです。

この工事も伊佐沼浄水場の完成で、おもな工事はほぼ終了しますが、この工事完了により、本市行政区域の過半数にあたる五十六・六九平方キロ㍍を給水区域に、給水人口は十一万二千人となるわけです。

しかし、この施設でも、今後ますます発展する市勢に対処するには、まだじゅうぶんとはいえません。したがって、市では第三次拡張工事を行ない、全市内を給水区域とするよう、現在計画を立案中です。

## 市議会日誌

▽七月二十六日午前九時より厚生常任委員等が、川越市の「し尿および終末処理場の概要」を、現地において、研究いたしました。

また、午前十時より「名細小学校プール竣工式」が開催され、厚生・建設の両常任委員長ほか、議員多数が、出席いたしました。

▽七月三十日午後一時より川越市役所会議室において「第十四回埼玉県市議会議員親善野球大会主将会議」が、開催され、県内市議会議員および事務局職員が出席し、本市議会議長ならびに議員、および事務局長、事務次長が、出席し「日程試合組合せ」など、協議いたしました。

▽七月三十一日と、八月一日・二日の三日間にわたり「厚生常任委員会」が、行政視察のため「大阪市・京都市」を訪問し「し尿処理場の状況など」を、それぞれ、視察いたしました。

▽八月二日午前十時より、東京都において「関越自動車道建設促進大会」が、開催され議長および事務局長が、出席いたしました。

▽八月五日午前九時より、市内平塚橋において「水防演習」が、開催され、総務・建設の両常任委員長ならびに議員多数、および事務局長が、出席いたしました。

また、午後三時三十分より東京都において「国道東京小諸線整備促進同盟会定期総会」が、開催され、副議長が出席いたしました。

▽八月六日午後一時に、深谷市議会事務局長が「埼玉県市議会議長会関係事務連絡」のため、来庁されました。

▽八月七日と、八日の二日間にわたり「市議会運営委員会」が行政視察のため「尾崎市」を訪問し「議会運営の実情について」視察いたしました。

また七日午前十時より「霞ケ関小学校分校プール竣工式」が、おこなわれ、文教常任委員長が、出席いたしました。

▽八月十日午前十時より、落合橋竣工式」が、おこなわれ、副議長ならびに議員多数、および事務局長が、出席いたしました。

▽八月十二日午前十時より、市民会館において「開発協会理事会」が、開催され、関係議員が、出席いたしました。

また、午後四時より、市役所応接室において「総務常任委員協議会」が、開催され「所管部門の現況について」の実情を、理事者より、聴取いたしました。

▽八月十七日午後二時より、市役所会議室において「川越市議会野球部の結成式」が、おこなわれました。

▽八月十九日午前九時より、市民会館において「開発協会評議員会」が、開催され、関係議員が、出席いたしました。

また、午後一時より、浦和市自治会館において「埼玉県市議会議長会正副会長会議」が、午後二時三十分より「埼玉県市議会議長会役員会」がそれぞれ開催され、議長および事務局長・事務局次長が、出席し「臨時総会に提出する案件について」を、協議いたしました。

▽八月二十一日と、二十二日の二日間にわたり、群馬県において「埼玉県市議会議長会臨時総会」が、開催され、議長および、事務局長・事務局次長が、出席し「昭和四十三年度埼玉県市議会議長会会計補正予算案」などについて、それぞれ、協議いたしました。

## 家庭の日

＝9月は15日です＝

秋です。燈火親しむべき季節です。母と子の二十分間読書をはじめましょう。子どもが、本を読むのをそばで静かに聞いてやります。あとで話しあいます。そこからすばらしい人間関係がうまれます。

## 住宅統計調査にご協力を

国では、十月一日をもって住宅統計調査を実施いたします。

この調査は五年ごとに行ない住宅に関する極めて重要な調査で、住宅の状況およびこれに居住する世帯の実態をはあくし住宅関係施策の基礎資料とするために行なうものです。

川越市では、百四十四調査区で、約一万世帯を対象に調査が行なわれます。調査員が、後日お伺いしていろいろとお聞きいたしますので、その節は皆様の格段のご協力をお願いいたします。

## 回覧板

**危険物収集日**

▽九月十八日＝大手町、幸町仲町、松江町二丁目、末広町一・二・三丁目、月吉町

▽九月二十五日＝三光町、田町、六軒町一・二丁目、中原町一・二丁目

▽十月二日＝連雀町、松江町一丁目、新富町一・二丁目通町

▽十月九日＝高階全地区、牛子

▽十月十六日＝三久保町、久保町、西小仙波町一・二丁目、小仙波町一・二・三・四・五丁目

**危険物取扱主任者試験**

▽試験日＝十月二十七日

▽場所＝浦和市（埼玉大学）の予定

▽試験種類＝甲種および乙種です。

また試験に備えて準備講習会が十月一日・二日の両日、所沢市市民会館で行なわれます。受講希望者は九月二十五日までに、消防本部内危険物安全協会事務局へお申し込みください。受講料は協会員が五百円、非会員が千円です。

なお、くわしいことは川越市消防本部へお問い合わせください。（電二二一〇七〇〇）

**はり絵展**

期日＝九月十六日～二十二日

**幼児作品展**

期日＝九月二十五日～二十九日会場はいづれも南公民館

**巡回行政相談**

▽日時＝九月十七日午後一時から四時

▽場所＝南古谷出張所

▽相談担当

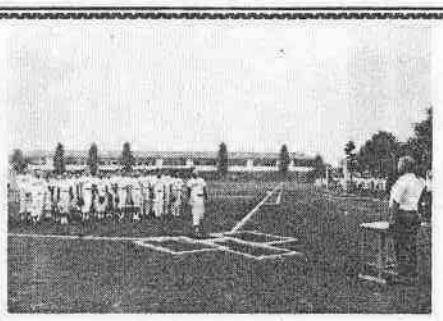
行政相談委員 関口道之助

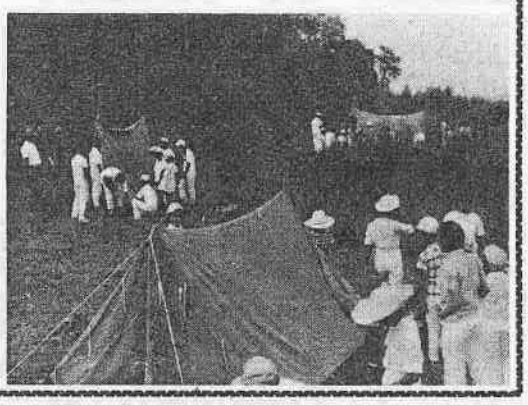
県行政相談員 岡野甲子郎

## 楽しかった町のキャンプ

川越市青少年相談員協議会（会長吉際寛さん）では、仙波町二丁目町内会と共催で同町内の小中学生を対象にして、八月十七日午後から仙波町の県営住宅広場で、野外キャンプを行ないました。

この野外キャンプは、楽しい夏休みになっても、山や海などへ行くことができないこどもたちのために、行なわれたもので、会場には仙波小学校の五・六年生と城南中学校の生徒百人余りが参加し、盛大に開かれました。また、八月二十一日には仙波町四丁目でも、天然寺前広場で野外キャンプが開かれ、小中学生八十人余りが参加しました。





## 東上沿線中学校野球大会

第二十一回東上沿線中学校野球大会が、八月十五日から八月十七日までの三日間、富士見中学校で行なわれました。参加校は、地区の予選を勝ちぬいた十六校で、熱戦の末、川越第一中学校が優勝しました。

## 若い根っ子の会　創立十五周年に記念植樹

若い根っ子の会（会長加藤日出男氏）では、同会創立十五周年を記念し八月十五日市に記念樹を寄贈しました。寄贈された記念樹は大きいヒマラヤスギで、全国から集まった約百名の会員と都築助役の手で、氷川公園内の慰霊塔の南側に植えられました。

## 戦没者のご遺族のかたへ
### 遺族名簿作成にご協力を

市では遺族会等の協力を得て「遺族名簿」を作ることになりました。

この名簿は、明治十年の西南の役から第二次世界大戦までの間に戦死したり戦病死されたかたや、満州開拓に義勇軍として参加され戦死されたかたの遺族を対象に作成されます。

現在市に保存されている遺族名簿のうち、第二次世界大戦の戦病死者の遺族名簿は、終戦から現在までの間に相当移動があると思われます。また新しく川越市に転入された遺族のかたで遺族名簿に記載されていないため、護国神社の例大祭や遺族の集まり、そのほか市や遺族会の通知などがもれるかたもあると思いますので、ここで完全な遺族名簿を作ろうとするものです。

調査は、本庁管内は遺族会役員が主になり民生児童委員が協力し、また出張所管内は遺族会役員と出張所職員が各ご家庭にお伺いして聞きとりを行ないますので、遺族のかたのご協力をお願いいたします。

なお調査期限は九月三十日までですので、この間に調査員がお伺いするわけですが、もし調査もれの遺族がございましたらもよりの遺族会役員・民生児童委員・出張所または福祉事務所へご連絡ください。

## 犬の放し飼いは禁止

皆さんの犬はつないで飼っていますか。最近、放し飼いの犬をよく見受けますが、犬を放し飼いにしますと、人にほえついたりかみついたりします。またふんや尿などにより他人に迷惑をかけます。

県では、大取締条例により犬の放し飼いはかたく禁止しています。これに違反しますと罰金などを科せられますからご注意ください。

迷惑な犬の放し飼いは、絶対にやめ、明るい街づくりに協力しましょう。

## 加入しよう　市民交通傷害保険

市の交通傷害保険は、市内居住者、市内在勤者ならどなたでも加入できます。一日一円の掛金で、もし不慮の交通事故にあった場合、二千円～五十万円の範囲で保険金が支給されます。

加入は年の中途でもできます。一カ月の掛金は三十円です。未加入のかたは一日も早く加入しましょう。

受け付けは市民相談室と各出張所で行なっています。

## 図書館だより　増加図書目録を発行

昭和四十三年度版の増加図書目録ができました。これは、四十二年度中に増加した図書二千七十一冊のうち、郷土資料九十冊を除いた千九百八十八冊の図書について、編集者、書名、発行所、請求番号を一覧できるように編集したもので、活版印刷でA5版七十二頁です。目下市内の各読書グループ、学校、公民館などに配布中です。

最近の新着図書のうちよく利用されている図書十冊を、九月分のペストテンとしてあげました。

▽三浦綾子「積木の箱」朝日新聞社▽北杜夫「黄いろい船」新潮社▽邵司寫孝「危険な食品」三一書房▽佐賀潛「道路交通法入門」光社▽吉岡力「歴史パズル」同上▽坂井利之「電子計算機」岩波書店▽藤間生大「倭の五王」同上▽広田尚敬「蒸気機関車」保育社▽五木寛之「風に吹かれて」読売新聞社▽畠山芳雄「こんな幹部は辞表を書け」日本能率協会

## 交通実態調査

県では九月中旬から十一月末にかけて、県内の約一万六千世帯を抽出して交通実態調査を行ないます。

この調査は東京、神奈川、千葉、埼玉の一都三県が同時に実施するもので、今後ますます複雑化する電車、バス、乗用車など交通機関の利用状況を調査し将来の都市計画、交通計画を立案するための資料を作成しようとするものです。

川越市は約八百世帯が対象となりますが、抽出方法は住民基本台帳より四十六世帯に一世帯の割合で抽出し、その世帯の五歳以上のものを対象に一日の行動を調査いたします。

調査員は、あらかじめ文書で日時を連絡してからご家庭を訪問し、面接により調査を行ないますので、よろしくご協力くださるようお願いいたします。

## 旧軍人　陸海軍文官の普通扶助料
### 請求は九月三十日まで

昭和四十三年九月三十日で、旧軍人および陸海軍文官の普通扶助料の請求が時効になります

次の内容に該当するかたで、未請求のかたは至急請求手続をしてください。

▽終戦後復員した旧軍人および陸海軍文官で、戦地加算を含めて、その在職手数が十二年以上（準士官以上十三年、陸海軍文官十七年）あるかたは軍人または文官恩給を請求することができます。

▽前記の該当者が復員後死亡している場合は、その配偶者、子（二十歳未満）、父母が本人の代わりに普通扶助料として受けることができます。ただし、金額は本人が生存している場合に受給する恩給の半額となります。戦地加算の年数は、在職した地域によって異なりますから該当すると思われるかたは、市の福祉事務所に至急お問い合わせください。（電話二三―一四五〇内線四七番）

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

## 道路整備のおねがい

旭町二丁目職業訓練所正門より十六号国道へ通じる道路を、通行できるように整備していただきたい。

ご指摘の道路については、戦時中軍需工場として横河電機㈱が、工場敷地に使用していたものですが、戦後その敷地をそのまま飯野製作所に譲渡され、今日に至っているものです。

昭和四十年十一月飯野製作所から、敷地内道路敷の処理について申し入れがあり市で境界確定を実施し、ご指摘の部分については復活することになっておりますが、工場建物の一部が道路敷上にあるため撤去の申し入れをしており、建物を除去しだい整備する予定となっています。なお、土木課の計画によると、建物の部分はそのままとして、他の部分を早急に実施することになっておりますので、いましばらくお待ちください。

## 声のポスト

### ◎前号の訂正

二頁の中段〝起こすまい地震時の火災〟の記事で、大正十三年九月一日に起こった関東大地震とあるのは大正十二年の誤りです。

## 川越市の高齢者番付（90歳以上）

蒙御免観進　川越市社会福祉事務所　川越市社会福祉協議会

番付表序列は年長順による。数字は年齢

| 東方 | | | 西方 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横綱 | 新井酉八 | 95 | 横綱 | 小峰登美 | 95 |
| 大関 | 栗原加藤次 | 94 | 大関 | 青木とみ | 〃 |
| 関脇 | 山田春廻 | 92 | 関脇 | 飯山みち | 〃 |
| 小結 | 鈴木三郎 | 91 | 小結 | 筋野つま | 92 |
| 前頭 | 大字大中居 | 〃 | 前頭 | 室岡たき | 〃 |
| 〃 | 宮下町通町 | 〃 | 〃 | 三沢デン | 〃 |
| 〃 | 〃笠幡 | 〃 | 〃 | 仲田嘉都 | 93 |
| 〃 | 大字下小坂新宿町 | 〃 | 〃 | 小峰やよゑ | 94 |
| 〃 | 〃的場角栄 | 〃 | 〃 | 石野たみ | 〃 |
| 〃 | 〃的場大字府川 | 〃 | 〃 | 圓谷タマ | 〃 |
| 〃 | 〃下戸 | 〃 | 〃 | 増田み代 | 〃 |
| 〃 | 〃石田本郷 | 〃 | 〃 | 向山すゞ | 〃 |
| 〃 | 小仙波町 | 〃 | 〃 | 熊沢こと | 〃 |
| 〃 | 大字下赤坂 | 〃 | 〃 | 〃砂新田 | 〃 |
| 〃 | 杉下町 | 〃 | 〃 | 大字的場 | 〃 |
| 〃 | 岸町 | 〃 | 〃 | 岸町 | 〃 |
| 〃 | 大字中老袋 | 〃 | 〃 | 秦つな | 〃 |
| 〃 | 南台二丁目 | 〃 | 〃 | 三浦キエ | 〃 |
| 〃 | 仙波町 | 〃 | 〃 | 永島この | 〃 |
| 〃 | 今泉 | 〃 | 〃 | 高野きく | 90 |
| 〃 | 〃砂 | 〃 | 〃 | 小峰きみ | 〃 |
| 〃 | 〃下広谷 | 〃 | 〃 | 野崎みや | 〃 |
| 〃 | 〃下広谷 | 〃 | 〃 | 宮崎つや | 〃 |
| 〃 | 大字大袋 | 〃 | 〃 | 横山はま | 〃 |
| 〃 | 新宿町 | 〃 | 〃 | 大谷ちよ | 〃 |
| 〃 | 仙波町 | 〃 | 〃 | 遠山かね | 91 |
| 〃 | 志多町 | 〃 | 〃 | 小林つね | 92 |
| 前頭 | 原田まさ | 90 | 前頭 | 岡本ナカ | 〃 |
| 〃 | 中沢可久 | 〃 | 〃 | 榊原ゑい | 〃 |
| 〃 | 根岸奈を | 〃 | 〃 | 秦つな | 〃 |
| 〃 | 川目とく | 〃 | 〃 | 三浦キエ | 〃 |
| 〃 | 山田イナ | 〃 | 〃 | 永島この | 〃 |
| 〃 | 山田けい | 〃 | 〃 | 高野きく | 90 |
| 〃 | 新井 | 〃 | 〃 | 小峰きみ | 〃 |
| 〃 | 大字笠幡 | 〃 | 〃 | 野崎みや | 〃 |
| 〃 | 連雀町 | 〃 | 〃 | 宮崎つや | 〃 |
| 〃 | 〃木野目 | 〃 | 〃 | 横山はま | 〃 |
| 〃 | 〃池辺 | 〃 | 〃 | 大谷ちよ | 〃 |
| 〃 | 〃鴨田 | 〃 | 〃 | 遠山かね | 91 |
| 〃 | 大字笠幡 | 〃 | 〃 | 小林つね | 92 |

## 明治100年記念　第20回　市民文化祭行事

＊くわしいことは中央公民館（電22―1394）または南公民館（電43―0038）へお問い合わせください。なお，11月中に行なわれる文化祭行事は次号でお知らせします。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 秋の茶華合同展（川越城，本丸御殿） | 華展 | 10月5日(土)午後1時～5時，10月6日(日)午前9時～5時 | 参加無料，10月5日(土)午前10時～12時までに搬入生け込むこと。出品申し込みは9月25日までに中央公民館へ。秋の華展に出品入選者をもって市美術展の出品資格者といたします。 |
| | 茶会 | 10月6日(日)午前10時～4時 | 会費200円（茶葉代等）どなたでもお気軽にご参加ください。 |
| 俳句大会（川越城本丸御殿） | | 10月6日(日)午後1時～5時 | 課題・当季雑詠3句1組，何組でもよい。投句料3句1組につき100円（投句原稿用紙，発表紙代等），投句締切9月15日(日)（当日消印有効）まで，川越市郭町2－23－6山下実宛に送付。選者…川越市俳句連盟理事。1位～30位まで入賞。 |
| 秋のハイキング（日和田山，鎌北湖めぐり） | | 10月6日(日)小雨決行雨天のときは13日(日) | 参加費250円（交通費その他）申し込み10月3日(木)までに会費を添えて中央公民館または南公民館へお申し込みください。 |
| 魚つり大会（伊佐沼周辺） | | 10月13日(日)午前8時～3時，小雨決行，雨天のときは20日(日) | 受付午前8時～11時まで，伊佐沼南側，水利組合事務所前，参加費無料，竿は1人2本まで（ふな，はや，くき）1等～50等まで入賞。 |
| 将棋大会（南公民館） | | 10月13日(日)午前9時～5時 | 一般歓迎，参加費150円（昼食代等）A，B級各10位まで入賞，当日受付 |
| 社交ダンスの夕べ（南公民館） | | 10月20日(日)午後6時～9時 | 入場無料，標準ダンスを中心に文化団体加盟バンド友情出演。 |
| 学級・講座作品展（南公民館） | | 10月25日(金)～30日(水)午前9時～7時 | 入場無料，中央公民館，南公民館各学級・講座受講生作品。種目…生花・ペン習字・書道・絵画・ハリ絵・水墨画・ペンテックス他。 |
| 琵琶の集い（南公民館） | | 10月26日(土)午後6時～9時 | 入場無料，詩吟団体応援出演 |
| 短歌大会（川越城本丸御殿） | | 10月27日(日)午前10時～5時 | 午前…講演・「長風」主宰鈴木幸輔先生，午後…歌会，申込締切…未発表の作品一首に会場整理費（一般100円，学生50円）を添え10月20日（同日消印有効）までに，中央公民館，市民短歌大会係あてに送付のこと。 |
| 菊花大会（西雲寺境内） | | 10月28日(月)～11月10日(日)午前9時～8時 | 入場無料，盆栽菊，盆養，切花，懸崖等 |